
Empty PANDORA

紅い赤

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Empty PANDORA

【著者名】

N5027F

【作者名】

紅い赤

【あらすじ】

伝説の秘法を狙う集団が起こす事件にその屋敷で庭師をしている少年が立ち向かう。

プロローグ

これは決して望んではいなかつた。

けれどもその結果、今の自分はここにいる。

怨めばいいのか？あれを？

感謝すればいいのか？あれを？

わからない。わからないまま

今日も時間だけが過ぎていく。

夢といつものは時々すぐ酷いことをする。

思い出したくない過去を掘り起こし、その日のテンションを下げてくれる。忌々しいが自分の頭を呪つてもしょうがないよな？余計に気分が滅入るだけだ。

時刻は朝の5時。使用者の朝は早い。とても早い。なぜなら仕事が山ほどあるからそれぐらい早く起きないと夜までに仕事が終わらないのだ。素早く着替えて廊下に出る前に異常が無いか部屋の中を確認する。とても使用人用の部屋とは思えないほど何回見ても無駄に広い部屋だ。他の同僚は皆、相部屋なのに俺だけがこの一人部屋を与えられている。まあ、男が圧倒的に少ないことも関係あるのだろうけど。

「さて、と。さっさと始めるか。」

今週から暑くなると聞いたし、庭の手入れから始めよう。

そしてまた一日がはじまる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5027f/>

Empty PANDORA

2010年10月18日09時07分発行